



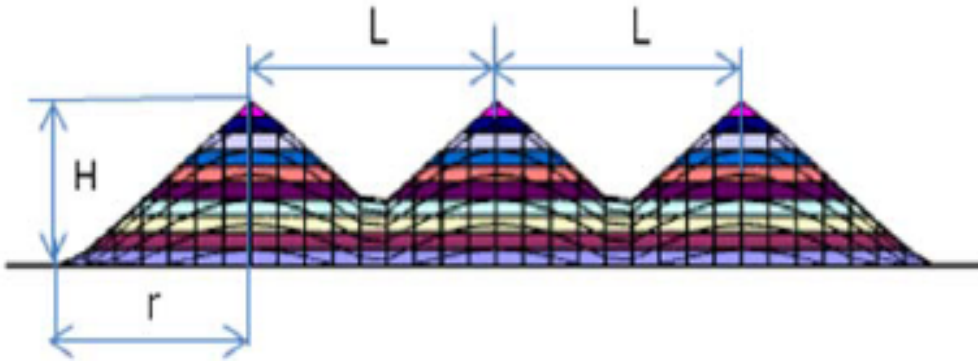
提案する人工海底山脈のイメージ  
(表層から底層まで生態系を活性化)

T. Suzuki

# 提案する人工海底山脈と従来型マウンドの形状比較

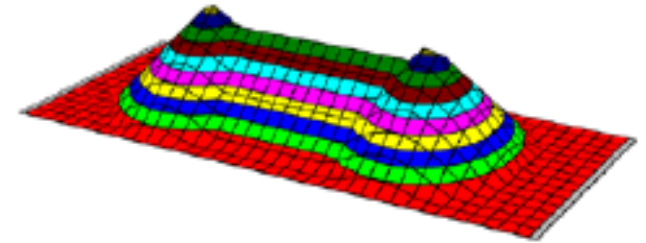
新しい人工海底山脈

$n = 3$



従来型マウンド

Dual cone type

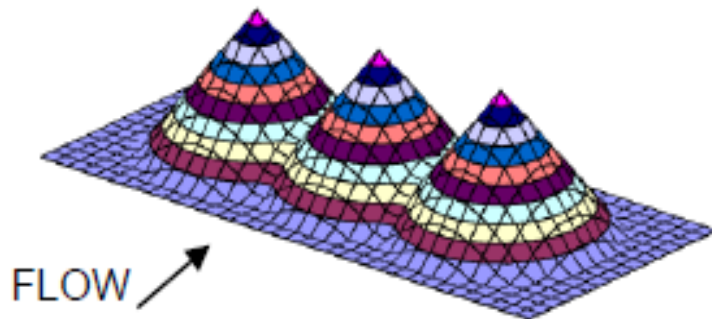


Long straight line on the top

新しい人工海底山脈の鯨瞰図

$n = 3$

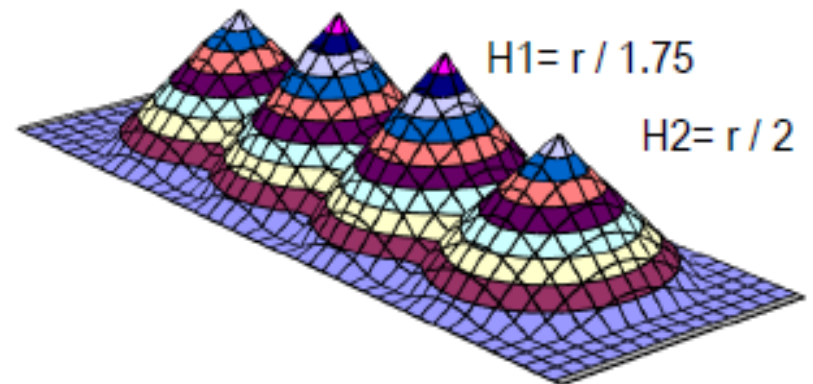
$L = 1.25 r, H = r/2$



$n = 4, L = 1.25 r,$

$H1 = r / 1.75$

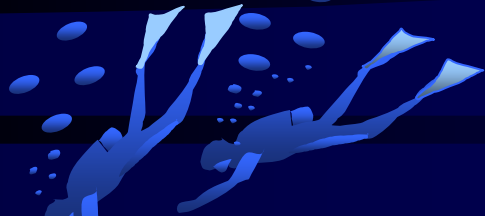
$H2 = r / 2$





# 提案する人工海底山脈の特徴

(同体積の従来型湧昇マウンドとの比較)



- 栄養塩類の湧昇効率が高く基礎生産の増大が図れます
- 流れと光に様々な変化を与え多様な漁場環境を創造します
- 沖合の大水深海域でも高精度の山脈構築が可能です
- 付着基質の表面積が広く餌料生物の増殖が期待できます
- 山脈延長が長いので漁場としての有効面積が拡大します

# マウンド VS 新型人工海底山脈 総湧昇Flux、体積等比較

(比較条件: 水深160m、高さ20m、勾配 1:2)

